

2019年1月11日

名古屋市長 河村 たかし 様
緑政土木局長 山田 淳 様

名古屋市天白区天白町野並相生 28-341
相生山の自然を守る会
代表 近藤 国夫

弥富相生山線の道路事業廃止及び相生山緑地の計画に関する説明会を受けての意見書

市長が、2014年に道路事業廃止を表明してから4年あまり。その間12回におよぶ世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議を重ね、昨年12月16日に示された名古屋市の素案を聞いて大変失望しました。特に緑地基本計画は、緑地を細かくゾーン分けし、芝生広場やスポーツ広場、デイキャンプ場を配置するあまりにもありきたりで、何回も検討をしてこれですか。と深いため息が出てしまいました。大都市に在りながら相生山緑地は全域にわたりヒメボタルが生息する稀有なところ。この素晴らしさを前面に出し、緑地全体を保護地域にしていることを世界に発信するような発想がほしい。

園路についても、あくまで建設済の構造物を残しておきたいとの思惑が見えるような案であり、市が検討会議で言っているように、緑地を通り抜けても緊急車両の到着に影響は無いのであれば尚の事ふれあいの丘を介して園路をつなぐ必要性はありません。

以上のことを踏まえ、相生山の自然を守る会は下記意見を提出します。

記

1. 市民との意見交換会を開始する前に、市の考えをより理解できるよう第12回世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議および、昨年12月16日の素案説明会の議事録を公開すること。
2. 弥富相生山線の道路廃止を緑地基本計画策定とは切り離して、早急に都市計画審議会へ付議すること。
3. 緑地基本計画策定は多くの市民と意見交換をして、十分な時間を掛けた話し合いをし、拙速な策定をしないこと。それが世界に誇れる緑地になります。
4. 相生山緑地整備は、施設をたくさん作るのではなく、都市内にある大きな雑木林の塊となるような整備をすること。

以上